

令和5年度インドネシアにおける  
米尼軍等との実動訓練  
(スーパー・ガルーダ・シールド23)について

令和5年8月  
防 衛 省

# 令和5年度インドネシアにおける米尼軍等との訓練 (スーパー・ガルーダ・シールド23)について

## 訓練の目的

島嶼部への攻撃を始めとする各種事態に実効的に対応するため、必要な部隊を迅速に機動・展開させ、必要な戦術技量の向上を図るためです。

## 実施場所

習志野駐屯地（及び演習場）においては展開行動（降下前後の動作確認や共同ブリーフィング等（空挺降下を含まない））を実施する予定であり、その後、インドネシアにおいて空挺降下等を実施します。

## 実施期間

習志野駐屯地（及び演習場）では、9月2日（土）～同月6日（水）まで展開行動（降下前後の動作確認や共同ブリーフィング等）を実施します。その後、9月7日（木）には陸路にて海自厚木基地へ移動し、インドネシアに向けて出国する予定です。

なお、訓練全体の期間については、令和5年8月27日（日）～9月13日（水）を予定しています。

※米尼軍等の移動【米軍】米国（アラスカ）の基地より8月29日（火）以降に横田基地に到着し、陸路で習志野駐屯地に移動。

【英軍及び尼軍】9月1日（金）及び2日（土）に羽田空港または成田空港から入国し、習志野駐屯地に陸自の車両等で移動します。

## 訓練のポイント

- 防衛省・自衛隊は島嶼部への攻撃を始めとする各種事態に実効的に対応するため、必要な部隊を迅速に機動・展開させる必要があるところ、本訓練では、インドネシアの良好な訓練環境も活用し、固定翼機からの空挺降下を含む空挺作戦及び空挺作戦に引き続く地上戦闘までの一連の行動を訓練します。
- 日本国内における米英尼合同での初めての共同訓練として位置づけられるものであり、インド太平洋地域における参加各国との連携強化に寄与します。

令和5年度インドネシアにおける米尼軍等との訓練  
 (スーパー・ガルーダ・シールド23)について(イメージ図)

米空軍横田基地  
 及び  
 海自厚木基地

米国(アラスカ)

インドネシア

飛出日	飛来日	飛来：令和5年8月29日以降 出発：令和5年9月7日 (習志野駐屯地での展開行動は令和5年9月2日(土)～9月6日(水)を予定)
実施場所	習志野演習場及びインドネシア共和国ジャワ島 出国のため、海自厚木基地を使用	
参加規模	陸自	第1空挺団：約160名
	外国軍	米軍：約120名、尼軍：約130名 英軍：約30名
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共同での展開行動(降下前後の動作確認等) (習志野駐屯地・演習場)</li> <li>○ 共同による空挺降下及び水陸両用作戦(インドネシア)</li> <li>○ 共同による戦闘射撃(インドネシア)</li> </ul>	

○米空軍C-17：米国～横田基地  
 海自厚木基地～インドネシアの経路で飛行する予定です。

# 令和5年度インドネシアにおける米尼軍等との訓練 (スーパー・ガルーダ・シールド23)について

## 【習志野での展開行動イメージ】

日米尼英指揮官会議



降下前訓練(インドネシア軍)



共同ブリーフィング



降下前訓練(日本)



降下後の動作確認(通信)



## 展開行動について

習志野駐屯地・習志野演習場で実施する内容としては、降下要領及び不測事態時の対処要領等について認識統一をするための共同ブリーフィングや、降下前及び降下後の動作確認といったものであり、習志野演習場において外国軍との空挺降下を実施するものではありません。また、本訓練全般として、実弾を使用した訓練は予定しておりません。